

ヒト由来バイオチン化トランスグルタミナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1725

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持っています。

用途 組換えヒトトランスグルタミナーゼは、非共有結合によって結合された2つの鎖からなるホモ二量体（a₂）です。トロンピンとCa²⁺によって酵素前体が活性型（a^{*}2、因子XIIIa）に活性化された後、因子XIIIaはフィブリンユニット間に共有結合ブリッジ（ε-(γ-グルタミル)リジン結合）を形成する触媒として働き、血栓ネットワークの剛性を高めます。その結果得られる架橋フィブリンは不溶性で、溶解に耐性があります。

別名 トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミルペプチド γ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミルペプチド:アミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種	人間
由来	昆虫細胞
外形	液体
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM ナトリウムリン酸 pH 8.0、15 mM NaCl に調製されています。サンプルには 50% グリセロールが含まれています。hFXIII は Ca ²⁺ 依存性の酵素です。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登録番号	80146-85-6
分子量	83 kDa
純度	> 95 % (SDS-PAGEによる視覚的)
活性	> 750 U/mg [活性は、Lorand et al.の方法に従って、N,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダペリンの取り込み後の蛍光増強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
活性化因子	トロンピンと10 mM Ca ²⁺ を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の増加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λ _{ex} = 332 nm, λ _{em} = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; 検出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装 50 µg

保管・発送情報

保存方法 作業用アリコットは、-20°C以下で保管してください。繰り返し凍結と解凍を避けてください。

